

## 国際シンポジウム

### 「持続可能な廃棄物処理のための戦略」

人間社会が生み出す廃棄物は、量の増大、有害性と環境制約に対する認識の増加、資源の有限性に対する危機感のため、従来型の処理の継続が困難になっている。将来世代に負の遺産を残さないという持続可能性が、国を問わず、21世紀の共通課題である。本シンポジウムは、持続可能な廃棄物処理のための戦略と課題について講演、討論する。

1. 日時 2006年8月8日(火) 13:30~17:30
2. 場所 ホテルロイトン札幌(札幌市中央区北1条西11丁目)
3. 参加費 無料
4. 使用言語 英語(同時通訳つき)
5. プログラム
  - 13:30 開会挨拶 松藤敏彦(北海道大学)
  - 13:40 都市圏における物質代謝と持続可能な廃棄物処理戦略  
Prof. Paul H. Brunner(ウィーン工科大学, オーストリア)
  - 14:40 持続可能な廃棄物埋立とは何か, どう達成するか  
Dr. Luis F. Diaz(CalRecovery Inc., アメリカ合衆国)
  - 15:40 コーヒーブレイク
  - 16:00 「韓国におけるリサイクル総合戦略」  
Prof. Lee Dong-Hoon(ソウル市立大学, 韓国)
  - 17:00 総合討論
  - 17:30 閉会

#### 6. 講演者紹介

Brunner教授は、人類圏における物質代謝に関する研究者として著名であり、環境影響、資源保全の観点における廃棄物処理の目標設定のあり方、優先順位設定、評価方法を含めた戦略について講演する。また、有害物質のクリーンサイクル(環境にやさしい循環)、持続可能な製品づくりにも触れる。

Dr. Luisは、廃棄物関係で最も権威ある論文誌Waste Managementのチーフエディターであり、資源化、途上国の廃棄物問題に造詣が深い。シンポジウムでは、持続可能な埋立とは、どのようなものと考えられているのか、その実現のためにどのような方策がとらうのかについて講演する。

李東勲教授は、ソウル市立大学においてバイオマスリサイクル研究センター長、産官共同基金の責任者を務めている。韓国では総合的なリサイクル戦略を立て、わが国に較べて高いリサイクル率を達成している。シンポジウムではその紹介と、データ整備の必要性などの課題について講演する。

#### 7. 参加申し込み・問い合わせ

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科資源循環システム専攻 松藤敏彦・山田以茜(秘書)

電話&Fax 011-706-6827 E-mail: [isen@eng.hokudai.ac.jp](mailto:isen@eng.hokudai.ac.jp)

資料準備のため、事前の申し込みをお願いいたします。またシンポジウム終了後、講演者との交流を目的とした懇親会を行います(会費3000円を予定)。懇親会の参加の有無も合わせてお知らせください。

なお、本シンポジウムは北海道大学「持続可能な発展」国際シンポジウムの一部として、また21世紀OOEプログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」の活動の一部として実施するものです。